

2014年度 国際金融論 練習問題2

担当 岩村 英之

2014年7月4日

- 7月11日（金）の講義開始時まで提出した分は、ボーナスとして試験の点数に加算します。それ以降の提出は理由によらず加点しません。事前に提出したい場合には、その旨連絡をください。
 - レポートとして形を整えるところまで含めて、3時間程度かかると想定しています。
 - 図は手書きでも構いませんが、Wordでもかなり手の込んだ図を書くことができます。
 - 数式は手書きでも構いませんが、Wordには数式を書くための「Microsoft 数式 3.0」が組み込まれています。
1. 【DD-AA モデル (1)】厚労省が年金財政の検証結果を公表した結果、人々の将来不安が高まり、家計が消費支出を抑制したとする。
 - (a) このショックに対して、経済は中期的にどう反応するか。すなわち、財市場・外国為替市場・資産市場はどう反応し、GDP・為替レート・利子率はどう変化するか。順を追って言葉で説明しなさい。
 - (b) 経済の中期的反応をDD-AA図で表しなさい。ただし、どの曲線がどのような理由でどのようにシフトするのか、詳細に説明すること。
 - (c) このショックによって、貿易収支はどのような影響を受けるか。説明しなさい。(ヒント：貿易収支は輸出と輸入の差だが、輸出は外国のGDPと為替レートに、輸入は自国のGDPと為替レートに依存する。さて、外国・自国のGDPおよび為替レートはどう変化しただろうか。)
 2. 【DD-AA モデル (2)】日本銀行が名目貨幣供給量を減少させたとする。
 - (a) この政策ショックに対して、経済は短期的にはどのように反応するか。外国為替市場および資産市場はどのように反応し、為替レートおよび利子率の短期均衡値はどう変化するか。詳細に説明しなさい。
 - (b) 十分な時間が経過してGDPが変化しはじめると、財市場・外国為替市場・資産市場はどのように反応し、GDP・為替レート・利子率は(a)の状態からどう変化していくか。詳細に説明しなさい。
 - (c) 名目貨幣供給量減少の効果はDD-AA図ではどのように表されるか、図示しなさい。また、どの曲線がどの方向にシフトするか、詳細に説明しなさい。
 - (d) 上の図において、名目貨幣供給量が減少したときの短期的な均衡（GDPが変化し始める前の均衡）と、中期的な均衡とを表示しなさい。さらに、短期における均衡為替レートと、財市場も調整される中期における均衡為替レートとを比較し、為替レートが短期的にオーバーシュート（中期均衡を通り過ぎる）するのか、アンダーシュート（中期均衡に届かない。中期均衡の手前で止まってしまう）のかを確認しなさい。

3. 【経常収支】ある国が自国で生産する以上の財・サービスを利用するとき、その国は経常赤字を出すことになる（配布資料 p.61-63）。
- (a) 今年経常赤字を出した国は、将来必ず経常黒字を出さなければならない、あるいは過去において経常黒字を出していなければならない。このことを説明しなさい。（ヒント：経常赤字を出すことは、外国から新たに借金をすることと同じであったことを思い出そう。）
 - (b) 同じ経常赤字であっても、それが消費需要の拡大によってもたらされるのか、あるいは投資需要の拡大によってもたらされるのかによって、その含意は大きく異なる可能性がある。前者の場合、今年の投資によって来年以降稼働できる資本設備（工場・機械等）が増えるため、将来的に生産水準が拡大する。この場合、今年の経常赤字が必ずしも問題視されないことを説明しなさい。（ヒント：将来生産が拡大するならば、経常収支はどうなっていくと考えられるか。それは、今年の経常赤字（＝借金）の返済可能性を高めるか、低めるか。）
 - (c) 経常赤字が消費の拡大によってもたらされる場合には、赤字が問題視されることがある。なぜ問題視されるのか説明しなさい。